

スゴイ！使える！

～ネット時代のもうひとつの図書館「データベース」～

「データベース」とは、目的に応じて整備されたデータの集合体のことを意味します。本学図書館にも利用者のニーズに応えるべく様々な種類のデータベースをインターネット上で公開（学内限定）しており、気になった記事や論文を容易入手することができます。

今回は、本学図書館で利用できる約40種類のデータベースの中から代表的なものを簡単に紹介します。データベースを利用して広範囲にわたる情報源から求めている情報や資料を効果的に収集しましょう。



Contents

- ・スゴイ！使える！ ～ネット時代のもうひとつの図書館「データベース」～
 - データベースを利用しよう！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2～3
 - データベース紹介！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4～6
- ・私が薦めるこの一冊・・・・・・・・・・・・・・・・ 薬学部 准教授 中西 雅之・・・・ P7
- ・廣川書店寄贈図書を紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
- ・統計データで見る松山大学図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8

データベースを利用しよう!

まずは、データベースの使い方がわからない等の理由から一度も利用したことのない方のために、基本的な機能の説明を始めましょう。

◆『学内ポータル』から図書館ホームページを開きましょう。

「WHAT'S NEW」には、
トライアル情報をはじめ、
皆さんにお知らせしたい情報が
満載です。

「データベース検索」を
クリックするとデータベース
一覧が表示されます。



◆本学が契約している約40種のデータベースが表示されます。初期画面では「データベース全件表示」となっており、データベース名のアルファベット順、50音順に表示されています。データベース名をクリックすると、利用することができます。



※1 各ボタンの説明

- 詳細** 内容の詳細説明。
- 説明** データベース提供社の説明ページ。
- 収録** データベースの収録情報。
- マニュアル** データベースの操作説明。
- ニュース** データベース提供社からのお知らせ。

◆下の画面の○で囲んだ部分のように隣のタブ「データベース種別一覧」をクリックすると、用途に応じた種別ごとに表示されます。



◆「データベース検索」ではジャンル、タイトル、キーワードから検索することができます。



◆「トライアル」では、学内から無料トライアルできるデータベースや電子ジャーナルの情報を紹介しています。



◆電子ジャーナルとは雑誌論文の本文、図表などが電子化され、Web上で公開されているもののことです。



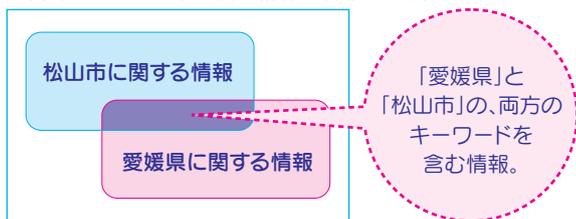
2008年からは、
現在契約している
電子ジャーナル約600タイトル
(薬学部関係)に加え、
さらに約600タイトル
(経済・経営・人文・法学部関係)
が閲覧できます!

データベースを利用する前に…

データベースを利用する前に基本的な検索知識を学習しておきましょう。ここでは「AND検索」「OR検索」という、どちらも複数のキーワードの結びつきを定義づけるものの説明をします。

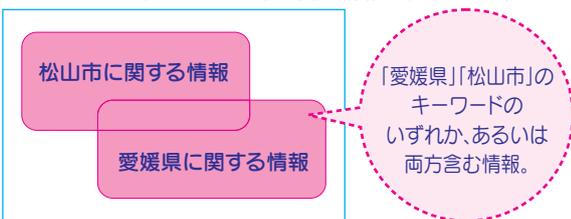
AND検索(絞り込んで探す)

★両方のキーワードを含む情報を検索します。



OR検索(もれなく探す)

★どちらか一方のキーワードを含む情報を検索します。



データベース紹介!

ここからはいくつかのデータベースをピックアップし、様々なケース別に紹介していきます。データベースを利用したことのない方はもちろん、利用したことがある方にも新しい発見があると思います。ただし、アクセス数に限りがあるものもありますので、利用できなかった場合は時間を置いてからご利用ください。

新聞記事を探したい!読みたい!

聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞記事全文検索)

- ◆朝日新聞社が提供する、戦後紙面データベース(1945年~1984年)および1984年以降の全文記事データベースです。
- 週刊誌「AERA(アエラ)」創刊号からの記事や、「週刊朝日」のニュース面も検索の対象です。
- また、「朝日現代用語・知恵蔵」も利用できます。

どうして
ゴミ分別しなきゃ
いけないの?



日経テレコン21

- ◆ビジネスに直結する新聞・雑誌記事や企業・人事情報などが入手できます。日経4紙の記事情報、100万社超の企業・人事情報をはじめ、幅広い分野におよぶ情報を網羅しています。

就活必見!



その他の新聞記事検索

- ・毎日Newsパック (毎日新聞記事全文検索)
- ・ヨミダス文書館 (読売新聞記事全文検索)

言葉の意味を知りたい!

Japan Knowledge

◆ 事典・辞書を中心に、「知りたいこと」にいち早く到達するための総合データベースです。

総項目数約186万、書籍約2万冊分の膨大な知識データの一括検索を行う、メインコンテンツの「Onelook検索」をはじめ、時事用語や経済情報などが満載の日替わり・週替わりのコンテンツが言葉だけでなく、目で見て理解・楽しめる多彩なマルチメディアコンテンツなど、面白い発見がいっぱいです。



ワンセグって
なに？



雑誌記事や論文を探したい!

Web MAGAZINEPLUS

◆ 一般誌から専門誌、大学紀要、海外誌紙まで収録した日本最大規模のデータベースです。国立国会図書館（NDL）の「雑誌記事索引」ファイルを収録するほか、「雑誌記事索引」ではカバーしきれない年報類・論文集など14,000点・60万論文を含み、合計で約30,000誌、約1,000万件（記事）を収録しています。

〇〇先生って
どんな論文書いて
いるのかな？



* 検索した資料のうち、本学に所蔵しているものは、松山大学OPAC（蔵書検索システム）へのリンクが貼られており、便利です！

雑誌記事や論文を探したい!



日経BP記事検索

◆日経BP社が発行する雑誌のバックナンバー記事を、オンライン上で、テキスト形式(本文のみ)またはPDF形式(記事全体・雑誌イメージそのまま)でダウンロードできるサービスです。読みたい情報をオンラインで、いつでも簡単に検索・閲覧することができます。

法律関係の情報を調べたい!



LEX/DBインターネット

◆国内の判例を総合的あるいは分野別に検索できる「判例データベース」、特許庁審決および国税不服審判所裁決を検索できる「行政機関等(審決・裁決)データベース」、税務判例の要旨を検索できる「要旨データベース」、税務に関するQ&Aを検索できる「Q&Aデータベース」、判例情報の速報サービスを行う「LEXニュース・レター」など豊富なメニューを揃えています。



LexisNexis Academic

◆大学や短大など教育機関向けのウェブ情報検索システムです。一般の新聞・雑誌記事からビジネス情報、法律情報、医薬情報など幅広い情報がデータベースに収録されています。

世界の雑誌・論文情報を調べたい!



OCLC First Search

◆アメリカのOCLC(Online Computer Library Center)が提供する学術情報サービスです。世界最大の書誌データベース「WorldCat」や、12,000タイトル以上の雑誌の最新記事情報をいち早く検索できる「ArticleFirst」、会議録情報が調べられる「ProceedingsFirst」など、様々な分野からおよそ30種類のデータベースが利用できます。

言語関係の文献を探したい!



Linguistics and Language Behavior Abstracts

◆言語学と言語研究の分野に関する文献索引データベースです。1973年以降に発表された言語学関連の分野をカバーする約2,000誌の逐次刊行物の論文記事や書籍・レポート・学位論文等の文献データを抄録付きで収録しています。

薬学関係の情報を調べたい!



Web of science

◆約8,700の重要学術雑誌から書誌情報を収録している文献のデータベースです。引用文献情報を搭載しているので、文献の引用回数を調べたり、引用文献をたどって研究の発展や経過を調べたりすることができます。

いかがでしょうか。少しは松山大学図書館データベースについてご理解いただけましたか?今回紹介したもの以外にも非常に便利なものがたくさんあります。これを機に日々の学習や研究等にデータベースを有効利用してみてください。きっと役に立つはずですよ。その他わからないことは遠慮なく情報サービス課(図書館カウンター)にご質問ください。

まずは学内ポータルからアクセスし、実際に使ってみましょう!OPACを使うような感覚で、気軽にデータベースをのぞいてみてはどうでしょうか。そこから新たな世界が広がっていくかもしれません。



私が薦めるこの一冊

薬学部准教授 中西 雅之



『順列都市 上下 PERMUTATION CITY』

グレッグ・イーガン著
山岸 真 [訳]
早川書房、1999

請求記号：Lib/2007
配架場所：開架 1F ベストセラー

お薦めしたいのは生化学の教科書です。どの教科書でも結構です。始めから終わりまでを通して読むと、自分の体に対する意識が随分変わるのではないかと思います。これは文系理系を問わず、図書館報熟田津を読まれている全ての方への推薦です。しかし、自身が担当する科目の教科書を薦めるのは、本コーナーの趣旨と異なる気がしますので、グレッグ・イーガン著「順列都市」を紹介します。本書は1994年の発表にもかかわらず、現在でも第一級のサイエンスフィクションであると同時に、綿密な思考実験を描いた小説でもあります。宇宙人による地球侵略といった映像的に見映えするだけの幼稚なストーリーではなく、科学理論を突き詰めたらどうなるかを丁寧に辿った、うっかりすると現実とフィクションの境が曖昧になってしまうような作品です。舞台は地球、人間の肉体の神経パターン・生化学反応を精密にスキャンし、数値化した「コピー」を計算機上に作れるようになった近未来。

自分とは何か？物質的側面から見ると、生化学の教科書に書いてあるとおり、肉体の材料はどんどん入れ替わっています。一説によると、人間を構成する分子は、1年以内にほとんど入れ替わり、最も代謝の遅い部位でも5年もあれば完全に入れ替わると言われています。では自分とは、特定の分子がそこにあるという情報なのでしょうか？情報であるならば計算機上に再現できるはずですが、では、計算機上に再現された自分＝「コピー」に意識はあるのでしょうか？あるとすると、どの時点で意識が発生するのでしょうか？人間の脳の物理プロセスは、ある瞬間の精神状態がそれに続く精神状態に直接影響して

成り立っています。主人公ポールは自らが「コピー」となって実験を繰り返すうち、そのような因果関係や物質は無意味で、パターンこそが全てであることに気づきます。“全てが塵なのだ”膨大な事象の塵のなかから、私というパターンがひとつの順列で塵を選び出すことで、私ができあがっている。さらには一つの宇宙が出来上がっている。同じ事象の塵を別の順列で取り出せば、別の宇宙を構成できる。初期パターンさえ与えてやれば、宇宙は物質とは無関係に存在できる。我々の物質宇宙が終末を迎えた後でさえ、それとは無関係に存在し続けられる宇宙。こんなことを、イーガンのややもすると粘着質な説明でひとつひとつ読者を納得させながら展開していきます。そして、ポールは不滅の宇宙を構築し…。

ここまで書いてきて、私の皮相的な知識と稚拙な文章では、本書の魅力を半分も伝えられないことを改めて認識しました。まずは、手にとってイーガンの目くるめく世界に触れてみてください。イーガンの小説は何の予備知識もなく読み始めると、背景が掴み難くぼんやりとした理解しかできないかもしれませんが、しかし、2回目読むと俄然面白さが分かってきて、3回も読むとそれが内包する多くの意味が突然見えてくるようになると思います。本書では特に、生化学に関連した興味深いエピソードも描かれています。こういう小説を読んでいると、生化学、有機化学、物理学、数学、社会学あらゆる学問は結局は一つにつながっているのだと実感できます。本書をはじめとするイーガンの小説に難を言うならば、人間関係の描写が叙情性の欠片もなく少々グロテスクなところですが、これすら客観性を与える効果があるように思えます。

本書を読んで、イーガンに興味を持たれた方は、本書の続編ともいえる「ディアスポラ」、自然界の四つの力を統一して説明する万物理論を軸に、ジェンダー、宗教や人種問題なども盛り込んだ「万物理論」なども面白く読んでいただけたらと思います。

寄贈図書コーナー設置！

薬学部分室に株式会社廣川書店より、
薬剤師育成のため図書が寄贈されました。
大いに利用してください。



統計データで見る松山大学図書館

図書館利用状況推移表

※貸出冊数は研究室分を除く

年度	入館者数	貸出総冊数	貸出冊数(学部別)						学生数
			経 済	経 営	人文英語	人文社会	法	薬	
2003年度	216,074	54,429	9,928	10,776	4,882	7,374	6,075	—	5,997
2004年度	203,977	44,321	7,248	9,418	4,848	5,696	4,884	—	5,730
2005年度	182,911	41,132	6,731	8,010	4,783	5,773	3,619	—	5,459
2006年度	176,421	37,526	5,717	6,767	4,346	5,502	3,191	782	5,460
2007年度	141,374	14,291	2,458	3,774	2,509	3,016	1,837	697	5,816

*学生数は2007.10.1現在 *2007年度は4~10月の数字

『相互協力』利用件数推移表

	本学からの申し込み件数			他館からの受付件数			合 計
	文献複写	相互貸借	所蔵調査	文献複写	相互貸借	所蔵調査	
2003年度	589(99)	312(63)	16	723(73)	52(23)	8	1,700
2004年度	419(61)	146(6)	6	1,323(156)	98(26)	11	2,003
2005年度	409(35)	232(26)	0	1,327(113)	111(32)	8	2,087
2006年度	332(45)	331(40)	4	1,590(91)	164(29)	7	2,428
2007年度	356(26)	224(19)	0	944(52)	75(38)	6	1,599

* ()は申込がキャンセルの件数、受付が謝絶の件数 *1999年9月よりNACSIS-ILLを開始した。 *2007年度は4~10月の件数

『編集後記』

今回はデータベースの紹介をさせていただきました。
記事の編集を進めるにつれて私自身にも新たな発見が
あり、非常に奥が深く、また便利なものであると再認
識しました。

“何気なく”手に取った本との出会いが人生を左右

することがあるとすれば、デジタル化が進む昨今、デ
ータベースにも同じことが言えるのかもしれない。
これを機にまずは“何気なく”のぞいてみてはいかが
でしょうか。

松山大学図書館報 No.40 2007年12月10日発行

編集・発行 松山大学図書館

〒790-8578 松山市文京町4番地2 TEL(089)925-7111(代)

ホームページアドレス <http://www.matsuyama-u.ac.jp>

E-mail : mu-libs@matsuyama-u.jp